



私たちの天栄村は、福島県の南部に位置し、面積225.56km<sup>2</sup>、人口6,958人（平成12年現在）が生活を営んでおります。村内を見わたせば、大川羽鳥県立自然公園に広がる森林、古い歴史と伝統文化、近年は羽鳥湖を中心に福島県有数の観光スポットとしても注目を集め、「森と湖といで湯の里」として、たくさんの方々から親しまれております。

天栄村は、「心豊かな村づくり」を21世紀の新しいテーマとして掲げ、保健・福祉の向上、教育の充実、農林業や商工業および観光の振興、道路・下水道といった生活環境の整備など、先人の築いた歴史と伝統を大切に、村の持つ資源を最大限に活用しながら、次代へ向けたきめ細やかな施策を展開していこうと考えております。

豊かな未来を実現するためには、行政と住民が一体となり、村民総参加による村づくりを行い、広域連携の中で、施設の相互利用や情報ネットワークの形成などを行いながら、個性ある村づくりを推進していかなければなりません。本村ではその指標として「第三次天栄村総合計画」を策定し、平成18年度を目標年次として、郷土の発展をめざしております。

「誰もが住んで良かったと実感できる村」そして、「21世紀を生きる子や孫に誇れる魅力ある天栄村」の実現に向けて天栄村はこれからも邁進してまいります。

この冊子によって、本村の現状をご理解いただくとともに、今後一層のお力添えをいただければ幸いに存じます。

平成12年8月

天栄村長 兼子 司

## 【村章】



「てんえい」の“て”と“ん”を図案化したもので、丸い形は村民の融和・円満と平和を意味しています。また、円の中心の白地は羽鳥湖、“ん”は村のシンボル二岐山をあらわし、村の森と湖の自然、そして村の限らない躍進を象徴しています。

## 【プロフィール】

本村は、昭和30年に湯本村、牧本村、大里村、広戸村が合併し、現在の天栄村となりました。名前は村の中央部の天栄山に由来しています。自然条件は分水嶺をなす鳳坂峠を境に区分され、東部は降雪が少ない太平洋側気候で、阿武隈川支流釈迦道川、竜田川の河川沿いに耕地が拓けています。西部は冬期間最大2mにも及ぶ日本海側気候で、那須連山の山間にあっては地勢は急峻で、この地域の90%が山林原野となっています。

## 【天栄村村民憲章】

私たちの村天栄は、自然にはぐくまれた古い歴史と伝統のある村です。私たち村民は、先人の築きあげた伝統を重んじ、勇気と誇りをもって、郷土を愛し発展させ、その成果を、後世に引き継ぐことがつとめです。このため、全村民の誓いとして、ここに村民憲章を定めます。

私たち天栄村民は、

- 一 自然を愛し 調和のある美しいむらづくりにつとめます。
- 一 きまりを守り やさしい心のかよう明るいむらづくりにつとめます。
- 一 働くことを尊び 互いに励まし合う豊かなむらづくりにつとめます。
- 一 心身をきたえ 健康な活力あるむらづくりにつとめます。
- 一 教養を高め あしたをひらく誇りあるむらづくりにつとめます。



●村の花 りんどう



●村の木 松



●村の鳥 うぐいす



●村の木 槐（えんじゅ）